

ルールは破られた、未来は守れるか。



ウィル・スミス

アイロボット

WILL SMITH
I, ROBOT

[illegible]

DAVIS ENTERTAINMENT

国産金川文庫 ハヤカワ文庫SF 創元SF文庫 ソニーマガジンズ

www.foxjapan.com

©2004 TWENTIETH CENTURY FOX



人間の夢であったロボットは、ある日夢をみるロボットへと進化を遂げた…。 それは、友なのか、敵なのか。

全世界待望のアクション・スリラー超大作!

SF小説の巨匠、アイザック・アシモフの原作にインスパイアされて作られたアクション・スリラー超大作、それが「アイ,ロボット」だ。

2035年のシカゴ。人間に危害を加えてはならないなどのルール「3原則」に守られて、人類はロボットと共存していた。そのロボットは、料理を作り、掃除をし、車を運転し、子供たちの面倒を見たりと、人間の日常生活になくてはならないものとなっていた。

そんな時、USロボティクス社から驚異の新世代ロボット、NS-5が全世界に向けて発表された。



ひとりの科学者の死。それが事件の始まりだった…。

ある日、ひとりの科学者が謎の死を遂げる。そこに、あるロボットが関与していたのではないかという疑いをもったデル・スプーナー刑事は、ロボット心理学者スーザン・カルヴィン博士と共に、その謎を究明していく。そして、想像を絶する恐ろしくも巨大な陰謀に巻き込まれてゆくのであった…。



人間とロボットとの共存は、3原則によって守られていた。

3原則 (3 Laws Safe)

- 一. ロボットは、人間に危害を加えてはならない。
- 一. ロボットは、人間から与えられた命令に服従しなければならない。
- 一. ロボットは、前掲第一条及び第二条に反するおそれのない限り、自己を守らなければならない。



主演は、「インデペンデンス・デイ」「メン・イン・ブラック」を大ヒットさせた、「アリ」でアカデミー賞ノミネートなど様々な賞に輝いたウィル・スミス。そして、大御所アル・パチーノからコリン・ファレル、ベン・アフレックら、熱い男たちと共演してきた「コヨーテ・アグリー」のブリジット・モイナハン、「L.Aコンフィデンシャル」の実力派ジェームズ・クロムウェルらが脇を固めている。

監督は、スピーディーで独創的かつハイ・センスなヴィジュアルをもつ「クロウ/飛翔伝説」「ダーク・シティ」の新進気鋭アレックス・プロヤス。

アイ,ロボット WILL SMITH ROBOT

キャスト

デル・スプーナー刑事:ウィル・スミス
スーザン・カルヴィン博士:ブリジット・モイナハン
アルフレッド・ランニング博士:ジェームズ・クロムウェル
ジョン・バーギン警部補:チャー・マクブライド
ランス・ロバートソン:ブルース・グリーンウッド
サニー:アラン・チューディック

スタッフ

製作:ローレンス・マーク、トファー・ダウ
監督:アレックス・プロヤス
脚本:ジェフ・ヴィンター、アキヴァ・ゴールズマン
撮影:サイモン・ダガン
美術:バトリック・タポロス
視覚効果監修:ジョン・ネルソン



9月18日(土)より 全国超拡大ロードショー